

# 北海道浮魚ニュース

平成 18(2006)年度 20 号 (通巻 No.233)

2006 年 10 月 5 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 道東太平洋サンマ南下期調査結果

### 漁獲尾数は多かった 魚体は大型魚が主体

北辰丸(釧路水産試験場試験調査船)で行ったサンマ南下期調査の結果をお知らせします。今回の調査は、道東太平洋海域へのサンマの南下状況を把握することを目的に実施しました。

調査期間：2006 年 9 月 26 日～10 月 4 日

調査海域と調査点(図 1)：道東太平洋(40° 00'N～42° 42'N, 143° 57'E～146° 50'E)の 11 調査点(漁獲調査は 6 点)

調査方法：CTD による海洋観測及び 9 種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

#### 1. 表面水温(図 1, 表 1)

各調査点の表面水温は 15.2～19.6 の範囲でした。St.4,8 のように水深 100m でも 10 以上あるような水温の高い調査点も見られましたが、表層はおおむねサンマの分布に好適な水温が広がっていました。

#### 2. 漁獲尾数と CPUE(図 1, 表 1, 表 2)

流し網調査の結果、サンマの総漁獲尾数は 9,005 尾でした。また、CPUE\* (流し網 1 反あたりの漁獲尾数)は 124.2 尾でした。これを 2000 年以降の同調査結果と比較すると、漁獲尾数、CPUE とともに過去最高でした(2003 年は参考値のため)。

サンマは全調査点で漁獲されました。時化や網成りの影響で、調査点ごとに網を流した時間が異なるので単純には比較できませんが、厚岸から根室沖の冷水域で多く漁獲され、St.3 では 7,621 尾漁獲されました。

#### 3. 体長組成(図 2)

流し網で漁獲されたサンマの体長範囲は、18～34cm 台でした。St.1, 3, 11 などでは小型魚もみられましたが、大型魚主体に漁獲された St.3 の漁獲尾数が多かったため、調査点全体の合計では特大・大型魚が全漁獲尾数の約 88%を占め、中型魚が約 9%、小型魚・ジャミが約 3%で、大型魚主体の組成になりました。また、夜間に各漁獲調査点でサンマの目視を行った結果、St.1, 3, 7, 11 では数十から数千尾の群れを発見し、タモ網や刺し網などで採集しましたが、各調査点の流し網の漁獲物とほぼ類似した体長組成でした。

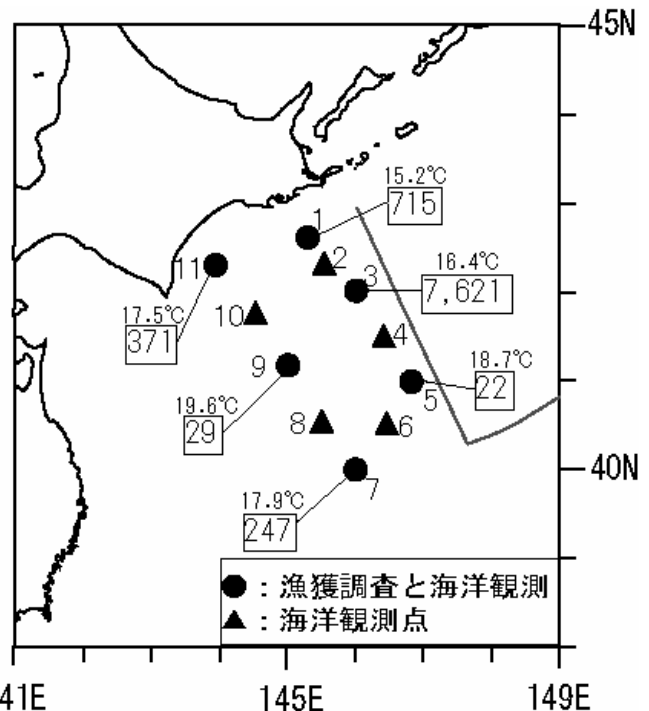


図 1 2006 年サンマ南下期調査の調査点ごとのサンマ漁獲尾数と水温

\* 目合 29,37,48mm の漁獲尾数から算出。1 反は 30 間切りで換算。

表1 2006年サンマ南下期調査結果概要

St.	調査日 (揚網日)	網浸漬時間 (時間)	水温( )			サンマ漁獲尾数						
			0m	50m	100m	目合22mm	25mm	29mm	37mm	48mm	55mm	合計
1	9月27日	11	15.2	5.5	2.1	7	-	270	339	99	-	715
2	9月29日	-	15.8	3.9	2.0	-	-	-	-	-	-	-
3	9月30日	11	16.4	4.2	1.9	1	33	329	6,645	605	8	7,621
4	9月30日	-	18.8	13.5	10.4	-	-	-	-	-	-	-
5	10月1日	11	18.7	10.6	2.5	-	-	-	16	6	-	22
6	10月1日	-	17.8	11.0	7.2	-	-	-	-	-	-	-
7	10月2日	11	17.9	8.4	7.8	-	-	29	131	86	1	247
8	10月2日	-	19.4	12.5	10.6	-	-	-	-	-	-	-
9	10月3日	5	19.6	10.8	7.5	-	-	-	20	9	-	29
10	10月3日	-	18.1	7.0	2.6	-	-	-	-	-	-	-
11	10月4日	11	17.5	8.7	4.8	2	8	94	247	20	-	371
合計						10	41	722	7,398	825	9	9,005

目合22,25mm各1反(30間切り換算)、29,37,48mm各4反(30間切り換算)、55mm2反(30間切り換算)

表2 サンマ南下期調査における漁獲尾数とC P U Eの経年変化

	2000年	2001年	2002年	2003年*	2004年	2005年	2006年
漁獲尾数(尾)	608	8,124	2,168	2,425	168	1,851	9,005
CPUE(尾/反)	7.2	112.2	40.8	185.3	2.0	21.3	124.2
漁獲調査点数	7	6	4	1	7	8	6

\*2003年は荒天、地震等により、漁獲調査点は1点のみであったため参考値。

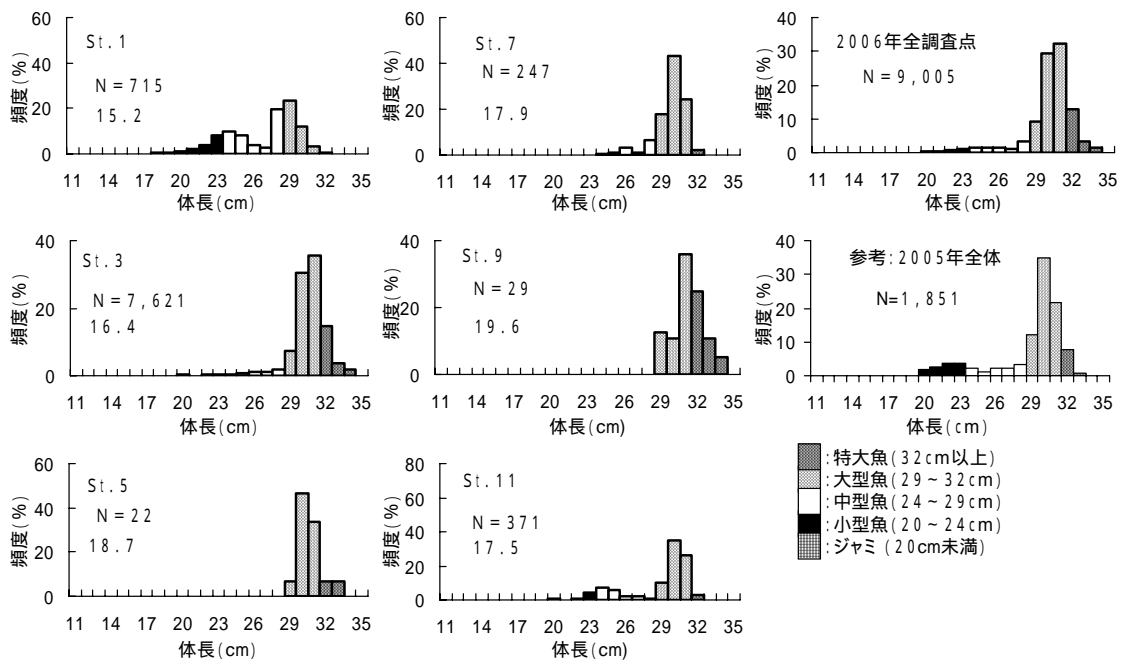


図2 2006年サンマ南下期調査におけるサンマの体長組成(Nは漁獲尾数、温度は表面水温)

#### 4.まとめ

この時期のサンマは、親潮水(冷水)の中を北方四島周辺から北海道・本州方面に向けて南下します。今回の漁獲調査点は、例年好漁場が形成される親潮水と北上暖水の潮境付近に配置されており、その表面水温はサンマの分布に好適でした。また、今年は漁期前から資源状態は良いと推定され、当業船の操業でも大型魚主体で好漁が続いています。今回の調査結果でも当業船が操業していた厚岸から根室沖で多数漁獲され、さらに、親潮第1分枝の先端の広尾沖や、親潮第2分枝の張り出しの中でも多数漁獲され、サンマは広範囲に分布していることが確認されました。

(文責：釧路水産試験場 資源管理部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)